ステレオタイプと流暢性の誤帰属

—ステレオタイプ不一致情報が偏見に及ぼす影響—

○佐藤春樹¹・堀田美保²・及川昌典³

(¹同志社大学大学院心理学研究科・²近畿大学総合社会学部・³同志社大学心理学部)

キーワード：ステレオタイプ，流暢性，ステレオタイプ不一致情報

Fluency misattribution and stereotyping: How stereotype-inconsistent information affects prejudice.

Haruki SATO¹, Miho HOTTA² and Masanori OIKAWA³

(¹Graduate School of Psychology, Doshisha Univ., ²Kinki Univ., ³Doshisha Univ.)

Key Words: Stereotype, fluency, stereotype-inconsistent information

目 的

特定の集団に対して人々が抱くステレオタイプのイメージは、対象となる集団やその成員の印象の悪化や偏見を導く要因として問題視されている。ステレオタイプの対象となる集団の成員は、ステレオタイプを確認してしまうことへの恐れから、できるだけステレオタイプと一致しないように振る舞うことで、印象の改善やステレオタイプの変容を試みることがある。しかし、ステレオタイプに一致しないように振る舞うことが、印象の改善やステレオタイプの変容につながるとは限らない。たとえば、キャリア女性といった女性ステレオタイプと一致しない情報は、サブタイプとして処理され、女性の印象の改善や女性ステレオタイプの変容にはつながらないことが指摘されている。しかし、ステレオタイプ不一致情報が、なぜ印象の改善やステレオタイプの変容につながらないかは定かではない。本研究では、その原因のひとつとして、ステレオタイプが持つ認知的な流暢性が関与している可能性を検討する。

単純接触効果の研究では、同じ人物に繰り返し接触することで好意度が増すことが知られている(Zajonc, 1968)。これは、繰り返し接触することで高められた認知的な流暢性が、親密性などの好意的な印象に誤帰属されるためであると考えられる(Bornstein & D'Agostino, 1992)。

反復接触に限らず、認知的な活性化によって連想されやすい状態に置かれた刺激や情報は、認知的な流暢性が高くなる。たとえば、ステレオタイプの活性化には、ステレオタイプに一致した情報の認知的な流暢性を高める作用がある。また、ステレオタイプの活性化は、ステレオタイプと不一致情報の処理を阻害し、認知的な流暢性を低める作用がある。このように、ステレオタイプ一致情報は認知的な流暢性の高い好ましい情報として処理される一方で、ステレオタイプ不一致情報は認知的流暢性の低い好ましくない情報として処理されるため、印象の改善につながらない可能性が考えられる。

ステレオタイプ不一致情報は認知的流暢性が低く、よってステレオタイプに一致しないように振る舞っても印象は改善されない。このような着想に基づき、本研究では、ステレオタイプ一致情報と不一致情報が、ステレオタイプの対象となる集団の成員の印象に及ぼす影響を検討する。これまでのステレオタイプ研究では、ステレオタイプを変容させることの難しさは繰り返し報告されてきたが、その原因については十分に検討されてこなかった。本研究では、認知的な流暢性の観点から、評価的にニュートラルな男性ステレオタイプ一致情報と不一致情報が、ステレオタイプの対象となる男性の印象に異なる影響を及ぼす可能性を検討する。

予備調査

大学生 65 名を対象として、プライム語を選定するための予備調査を行った。感情価がニュートラル (7 件法で 3.5 点～4.5 点) な単語の中から、「ステレオタイプ一致プライム条件」には男性ステレオタイプ得点が上位の単語 15 個、「ステレオ

タイプ不一致プライム条件」には得点が下位の単語 15 個が、プライム語として選定された。

方 法

実験計画 大学生 17 名(男性 4 名, 女性 13 名)が、「ステレオタイプ一致プライム条件」と「ステレオタイプ不一致プライム条件」のどちらかの条件に無作為に割り振られた。

材料 予備調査に基づいて選定された、感情価がニュートラルで条件間に差がなく、ステレオタイプ一致度のみが条件間で異なる単語をプライムとして、また、男子大学生 15 名から作成された平均顔 30 枚をターゲットとして使用した。

手続き 練習試行 15 回の後、本試行を 30 回実施した。

Figure 1. 1 試行の流れ

結果と考察

本研究では、認知的な流暢性の誤帰属という観点から、評価がニュートラルなステレオタイプ一致情報と不一致情報の活性化が、ステレオタイプの対象となる集団成員の評価に及ぼす影響を検討した。その結果、ステレオタイプ不一致プライム条件では、ステレオタイプ一致プライム条件と比べて、好意度が有意に低かった(Figure2)。すなわち、ステレオタイプ不一致情報は、好印象につながらないことが示唆された。

Figure2. プライム条件ごとの好意度